

令和6年4月近江八幡市教育委員会定例会（要旨）

1. 開催日時 令和6年4月17日（水） 午前9時30分～10時30分

2. 開催場所 近江八幡市水道事業所3階 AB会議室

3. 出席委員	教育長	安田 全男
	教育長職務代理者	安倍 映子
	委 員	西田 佳成
	委 員	大更 秀尚
	委 員	圓山 淳子

4. 事務局出席者

教育部長	太田 明文
教育総務課長	岡村 祥子
教育部次長兼学校教育課長	富江 康子
教育部次長兼生涯学習課長	清水 和仁
学校給食センター長	眞野 善博
近江八幡市立図書館長	奥村 恭代
スポーツ課長	村田 崇
国スポ・障スポ推進課長	伊崎 裕二
子ども健康部次長兼幼児課長	村北 幸司
教育総務課長補佐	夜野 友昭
教育総務課副主幹	竹浪 雄大

5. 会議を傍聴した者 0人

6. 会議次第

【議 案】

○なし

【協議事項】

○令和6年度滋賀県教科用図書第3採択地区協議会委員の選任について

○学校給食運営委員会委員の選出について

【報告事項】

○教育委員会事務局職員の人事異動について

○令和5年度寄附採納について

○令和5年度教育委員会後援等について

○近江八幡市フリースクール等民間施設運営支援補助金交付要綱の制定について

○近江八幡市フリースクール等民間施設利用児童生徒支援補助金交付要綱の一部改正について

○通学区域の弾力化制度利用による就学について

○令和6年度市内校園の地域協働推進員及び家庭教育支援員について

○第3期近江八幡市スポーツ推進計画について

○令和6年度園児数について

7. 議事の経過

(1) 開 会（日程確認）

- ・教育長が4月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認
- ・日程について

承認

(2) 会議録の承認

3月定例会の会議録

承認

(3) 教育長挨拶及び報告

（挨拶）

皆さん、おはようございます。この4月から教育長としてお世話になっております安田全男でございます。委員の皆様には、平素より教育行政の推進に当たりまして、大変お力添えをいただいておりますことに、まずもって心から御礼を申し上げます。今後とも、教育委員会における真摯な議論の積上げと、それに基づく意思決定に重きを置きますとともに、市長部局との建設的な協議調整も図り、近江八幡市として一貫した教育行政の推進が図れるよう取り組んでまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。それでは4月以降の主な活動を報告させていただきます。

（報告）

4月1日の辞令交付式の後、一連の年度初め式に出席させていただいた。直後、園所長会に参加し、自己紹介も兼ねて子どもたちの未来に関する私の思い

についてご説明させていただき、「現場の皆さんと悩みを共有し、一緒に取り組みましょう」とお伝えした。

4月2日には、市内の私立の教育関係者をはじめ、市立の校園の幹部を対象に、市教育行政基本方針の説明と公私の教育連携についてお願いをさせていただいた。

また、同日から北里コミュニティセンターをはじめ、全てのコミュニティセンターに順次伺い、着任のご挨拶と、地域の実情を教えていただく中で、教育的課題について一緒に考え、解決に向けて共に取り組ませていただきたい旨をお伝えした。

さらに、健康ふれあい公園をはじめ、各スポーツ施設を現認させていただくとともに、少年センターをはじめ、学びの施設の悪化状況、特にトイレも含めた施設状況を確認させていただいた。

4月5日には春の交通安全出動式に参加し、4月11日には歩行者認知表示板「ゆずるくん」の除幕式に、「さくらっこ保育園」の子ども達とともに参加した。

4月9日から10日にかけては、桐原小学校、八幡中学校、金田幼稚園の入学式において、子ども達や保護者の皆様へお祝いの言葉をお伝え申し上げた。

学校訪問については、武佐小学校、老蘇小学校、八幡小学校、北里小学校において、児童の状況や学校施設の状況・実情について確認させていただいた。引き続き、沖島小学校をはじめ、早い段階で順次各校園を訪問させていただく予定である。

また、4月8日に給食センターの地下配管部分に入り、地下配管の問題箇所を現認し、計画どおりの早期改修について指示をした。

事業に関しては、4月7日に「ミニミニトライアスロン」開会式に参加し、4月13日に「西の湖ウォーク」に参加した。

また、4月12日には西川知雄氏の講演会に参加し、私の関心である「生き抜く力」をどの様に育成するかについてお尋ねしたところである。

4月15日には県の重点施策説明会に安倍委員、圓山委員とともに参加した。説明会後の幼児教育についての研修会においては、特に安倍委員からは、講師の初等中等教育局の横山視学官に対し、教育現場における全教員を対象とした出前研修の必要性や、県重点施策説明会における研修テーマが児童教育であったことの大きな意義について発言をいただいた。その上で、幼児教育の重要性を、その場でご指摘いただいたところである。

(4) 議事

●協議事項

◎令和6年度滋賀県教科用図書第3採択地区協議会委員の選任について

【事務局説明】…学校教育課

【意見等】

○大更委員

昨年小学校の教科用図書をさせていただいたので、今年度は中学校と特別支援学級についても、私の方で進めさせていただきたいと思っている。

【選任】

大更秀尚委員（全員賛成）

◎学校給食運営委員会委員の選出について

【事務局説明】…学校給食センター

【意見等】

○圓山委員

小学生の保護者として食育にとっても関心があり、私が引き受けさせていただきたいと思う。

【選任】

圓山淳子委員（全員賛成）

●報告事項

◎教育委員会事務局職員の人事異動について

【事務局説明】…教育総務課

【質問等】

（特になし）

◎令和5年度寄附採納について

【事務局説明】…教育総務課

【質問等】

（特になし）

◎令和5年度教育委員会後援等について

【事務局説明】…教育総務課

【質問等】

○安倍委員

後援できない場合に関して、課をまたいだり教育委員会以外でも申請を出しておられたりする場合もあるかと思うが、そういう場合に調整されることはあるのか。

○教育総務課

関係課に合議の上で決裁している。

○安倍委員

課によっては「そちらはできるけれど、こちらはできない」というようなことも、市として起こり得るのか。

○教育総務課

市の要領に基準を設けているため、それに基づき判断しており、今のところ合致している。

○教育部長

現状意見が合致している案件が多い。

○西田委員

中学生広場は、入っていないのか。市P連主催か。

○学校教育課

その件については、教育委員会後援ではなく、三者共催である。

◎近江八幡市フリースクール等民間施設運営支援補助金交付要綱の制定について

◎近江八幡市フリースクール等民間施設利用児童生徒支援補助金交付要綱の一部改正について

【事務局説明】…学校教育課

【質問等】

○安倍委員

2月か3月かに、フリースクールが集まる協議の場に参加させていただいたが、市外から来られた方の話がたくさん出ていた。近江八幡市のこの要綱と市外の方から聞いておられる要望等に少し違いがあり、受け入れておられる方の中で、少しばらつきがあったり、困っておられたりすることもあると感じた。そこで、市と市の間の調整等については、会議等を持たれているのか。

○学校教育課

今のところ市と市の調整ということはしていないが、担当者同士の情報交流はさせていただいている。

○安倍委員

事務局と事務局との関係性も必要になってくると思う。

それから、もう一点教えていただきたいのだが、先日安土の「フリースクール Since」の取組が大きく新聞報道されており、今年度から夜間のフリースクールをやっていききたいと書かれていた。この要綱においては、当初から昼間だけの活動という視点であって、どの家庭の子も来られる居場所という観点から夜というのは私達の想定から外れていた。そう考えたときに、そこが安心できる場所なのか。子ども一人一人にとって夜の安心できる居場所を私達が確保しないと、本当のフリースクールの意味がないとも思うが、その点について、この要綱から少し外れているかとも思った。これに関しては、第17条に「この要綱に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める」とあるので、その都度の話になるのか、それとも既に協議しているのか。

○学校教育課

フリースクールに関しては、学校の課業を補完するという役割であるため、昼間に限定されていると考えている。事業者の方で「ナイトステイ」をされるというところは、今のところフリースクールとしての対象ではないと考えている。

○西田委員

フリースクールの言葉の定義の部分だが、市としてのフリースクールの定義は、どこかに書かれているか。もし書かれていないのであれば、そこを突っ込まれてしまうと、夜間の部分もフリースクールであるという捉え方をされる企業もあるかもしれない。もし定義されていないのであれば、どこかに定義づけをした方がいいと思う。

○学校教育課

令和6年3月改定ということで、「近江八幡市不登校児童生徒が通う民間施設ガイドライン」というものを作成させていただいている。その中でフリースクールの定義がなされており、「学校課業日及び課業時間8時30分から16時に、おおむね週3日以上開設していること」とある。そこに照らし合わせることになる。

○圓山委員

フリースクールと学校との連携は、これまでどの様になっているか。

○学校教育課

フリースクールの代表者が子ども達の活動の様子を伝えに学校に来てくださったり、月末ごとに子ども達は何日登校したか報告をいただいたりしている。また、状況によっては、学校の関係者が活動している子ども達の様子を見にフリースクールへ行かせてもらうこともある。

○圓山委員

現代社会においてフリースクールの存在は大切であると思うが、それと同時に、私は、やはり集団生活に適応してもらいたいという気持ちも持っている。

そこで、学校行事への参加の呼びかけ等をされているのかお聞きしたい。

○学校教育課

学校行事については、学校だよりや学級通信等で、いろいろな予定をお届けしており、その中で「今度こういう行事があるけれど、参加いかがですか」というような話合いもなされている。

◎通学区域の弾力化制度利用による就学について

【事務局説明】…学校教育課

【質問等】

○安倍委員

春休み期間にテレビで、沖島小学校の卒業式ということで、卒業生の子どもに関する内容が特集されていた。他市から沖島に転入してきて、その1年を振り返って、その子がどのような育ちを持ったかということの特集されていたわけだが、発達障害ということで、特別支援の子どもが、少人数の、また大自然の中に、あるいは地域の方とともに、学校教育を楽しみ、生活することによって、その特性が薄らいでいたり、回復したり、より良い学校生活を通して成長していく。そして、保護者は「そこを選んでよかった」とおっしゃっていたわけだが、やはり近江八幡市の沖島小学校や島小学校の少人数ならではの学校教育が生かされると考えたとしたら、他市からも受け入れながら、その子がどこの市町の子であろうとも育てていくという方向性をしっかり持たないといけないと思った。

また、中学校になると地域に戻ることになるかと思うが、特別支援教育の視点から、次のステップである中学校とどのように連携していくのか。この子のケースを見ていて大変有意義な学校教育を過ごしていただいたと思ったので、受入体制について十分に配慮し、これからも進めていってほしいと感じた。

◎令和6年度市内校園の地域協働推進員及び家庭教育支援員について

【事務局説明】…生涯学習課

【質問等】

(特になし)

◎第3期近江八幡市スポーツ推進計画について

【事務局説明】…スポーツ課

【質問等】

○教育長

いろいろなスポーツに関する課題を把握して計画を作っていると思うが、今回の計画を作るに当たって、近江八幡市のスポーツ推進の課題のうち、特に大きなものはどのようなものであったか、ご説明願いたい。

○スポーツ課

9月に取りらせていただいた市民アンケートの結果について、前回調査がほぼ10年前になるが、前回とほぼ変わらないデータが多い中で、スポーツへの関心については、それと比べると関心のある方が微増している。それから、1日の中で体を動かす時間についても、やはり健康志向が上昇しているということで、前回と比べて5%ほど多くなっている。

逆に、課題については、アンケート結果から鑑みると、15ページに掲載されているが、「市内の公共スポーツ施設が提供するサービスについて望むこと」ということで、若干前回と変わっているところがある。特に今回の調査の中で数が多くなったのが、「利用手続や料金の支払方法の簡素化をもっと進めてほしい」という意見であった。これについては、令和5年度から市内の社会体育施設、スポーツ施設に予約システムを導入しており、スマートフォンから簡単に予約していただけるというような取組を既に始めている。

それと、17ページ以降になるが、「近江八幡市のスポーツを取り巻く課題」ということで、4点ほど挙げている。

1点目は、言葉にすると抽象的になってしまうが、「健康・体力づくりに向けた運動・スポーツの促進」ということで、アンケート調査から鑑みると、地域コミュニティの形成や活性化、子どもの体力づくり等が求められているということで、その辺りに観点を置いたスポーツ教室や各種事業を展開していきたいと考えている。

次に2点目として、「ライフステージに応じたスポーツの推進」ということで、運動不足を感じているものの、やはり仕事等があってなかなかスポーツをする機会がないということで、先ほどのスポーツ教室等に重なる部分もあるが、ちょっとした隙間の時間にでも体力づくり等ができるような取組もしていければと考えている。

3番目に、「地域の活性化に向けたスポーツの推進」ということで、常々各学区でいろいろな事業を展開していただいているが、さらに運動公園や健康ふれあい公園に行かなくても、地域で何かイベントがあればそれに参加できるように、より参加していただきやすい取組も進めていかなければならないと感じている。

4番目に、「スポーツを支える人材育成」ということで、当然地域スポーツも盛り上げていかなければならないが、競技力の向上というところにも目を向けていかななくてはならないと思うので、来年には国スポ・障スポもあることから、そのための人材育成にも取り組んでまいりたいと考えている。

○安倍委員

毎年の点検・評価のときに、スポーツ課からいろいろと話を聞きながら、障がい者スポーツはどうか、幼児の体力や運動能力がまだまだ弱いということに対して近江八幡市はどの様に対応していくか、そういったことがスポーツ課の計画に反映されていればいいなと思っていたが、全て入れていただいていると感じた。これからは、推進ということで「にこまる体操」もあるが、老人会でよくされている「いきいき百歳体操」のような健康推進の分野とどの様にコラボしていくか。これは、縦割りの形ではなく、スポーツというのは全市民が参加されるので、そういうことも含めて横断的に考えていただくことが大事であると思う。

ただ、中身を見せていただいていると「女性が少ない」というようなことも書かれているようだが、そもそもこのスポーツ推進審議会の委員構成として、女性委員が1人だけということが少し気になった。失礼な言い方になるかもしれないが、もう少し女性の委員がいれば、話の内容に女性目線が足されて、より豊かになるのではないかと感じた。

○スポーツ課

障がい者スポーツや高齢者スポーツについては、私どももいろいろな余暇事業や障がい福祉課所管の会議体に参加させていただいて、いろいろな課題をお聞きしている。障がい者スポーツに関しては、この計画の中では「障がいの有無にかかわらず、スポーツを楽しみましょう」「相互理解を進めましょう」と書いているものの、実は「健常者の中に障がい者が入るのは、なかなか難しい面もあるよね」というような課題もいただいている。その部分については、スポーツ推進委員さん等で出前講座をよくご利用いただいております、まず障がいをお持ちの方にニュースポーツ等を楽しんでいただいて、そこから市でスポーツフェスティバル等をする際に「一度行ってみようか」というような導入の仕方をして、さらに進めていきたいと考えている。また、高齢者スポーツに関しては、高齢者に特化した卓球教室等も充実させていきたいと考えている。

それと、女性に特化したスポーツ教室という部分については、スポーツ教室としてはヨガ教室等の女性にターゲットを絞った内容も考えてはいるが、なかなか時間が合わず「家の用事があって、行きたいけれど行けない」ということを聞いているので、そこにコミットするような時間帯の設定や内容を考えていきたい。

また、女性委員については委員のおっしゃるとおりで、事務局としても女性の声を吸い上げていきたいと思っている。委員ご指摘のとおり、この最後のページを見ていただくと委員名簿が載っているが、小山さんお1人ということで、改選の時期には積極的に女性にお声がけしていきたいと考えている。

○大更委員

「ライフステージに応じたスポーツの推進」ということだが、働き方改革で多くの方が自分の生活の中に時間的な余裕を持とうとされてきており、特に

若い世代は、どちらかというとそういうことを重視されている。そうなってくると、近江八幡市の中において若い世代が仲間と一緒に活動しやすいということで機運が高まっていけば、スポーツに関する人材として、仮に自分自身がスポーツをしなくてもボランティアで何か活動してあげたいというようなことで広がっていくのではないかと思いますので、この「ライフステージに応じたスポーツの推進」については、これからも頑張っていただきたいと思っている。

○スポーツ課

私どもとしても、若年層の運動不足や、委員がおっしゃったように「行きたいけれど活動する場がない」ということを結構聞いており、課題であると思っているので、そちらについてもニーズを把握しながら引き続き進めてまいりたいと考えている。

○西田委員

丁寧にまとめていただいて、素晴らしいと思った。

この9ページの図3「スポーツへの関心について」というところで、「非常に関心がある」「関心がある」という方で約7割近くなるが、逆に「あまり関心がない」「関心がない」という方もいる。こういう「関心がない」方々に対して、いくら「スポーツは大事ですよ」「した方がいいですよ」と言っても、多分されないと思う。ここに出ている「時間がないからスポーツができない」と言われている方が、スポーツに関心がある7割側の方なのか、スポーツに関心がないと言われている側の方なのか。ここでは、それが読み取れないので、可能であればそこを分類分けできるといいが、相当大変だと思う。この「関心がある」方が満足にスポーツを経験することができるように、例えば開催の時間を工夫するなど、そういう工夫があれば「関心はあるが、時間やお金の制約があってできない」という方が、まず運動を始めるのではないかと思います。私は、「スポーツは癖のようなもの」と思っていて、1日1回体を動かさないと気が済まないという人もいれば、体を動かすのは大嫌いで家でコーヒーを飲んでいる方が好きという方もいると思うので、「関心がある」7割側の方が、より参加しやすい環境を作っていただけるとありがたいと思う。

○スポーツ課

ここには持って来ていないが、調査データの別冊があるので、それを分析しながら取り組んでいきたいと考えており、また、委員の皆さんにもお示しさせていただきたいと考えている。

○教育長

データを持っているというのは、これには単純集計結果だけが出ていると思うが、クロスチェックの分析もされているということか。

○教育部長

このアンケート調査については、細部にわたる設問があり、その上でクロスチェックをかけている。もっと分厚い調査結果もあるので、後日またお示しできればと思う。

◎令和6年度園児数について

【事務局説明】…幼児課

【質問等】

○安倍委員

保育所、幼稚園、認定こども園の、どこにも行っていない子どもは、市内で何人ぐらいいるのか。

○幼児課

私どもの方は、入所申込をされた方について、入所できなかったという数は把握しているが、全体的なことについては、子育て支援の担当課の方で把握されている。

○教育長

安倍委員がお聞きになっている数値等は、また別の機会にでも委員へ報告できるようお願いしたい。

○大更委員

3歳、4歳、5歳の全くどこにも行かれてない「隠れた園児」というような数字は、把握できないものか。以前私が現場にいたときには、外国籍の子どもが増えて、住基に載っているが年齢的にも小学校入学頃だがどうだろうなということがあって、そこのお家へ尋ねて「いかがですか」という話をしたことがあった。なかなかそういう把握は難しいものなのか。

○幼児課

例えば人口統計から入所者数を差し引けば単純な数は把握できるかと思うが、中には、市外やその他の施設におられる可能性もあるので、その辺りについては、また子育て支援の担当課に確認させていただこうと思う。

○教育長

そういうことがもし分かったら、後日委員の方に報告できるようにお願いしたい。

8. その他

9. 閉会

教育長が4月定例会の閉会を宣言